

忘れられないあの味

大津赤十字病院 深井 鮎美

2016年3月、電車で南九州を周遊しました。JR九州には面白い観光列車が多数存在します。木をふんだんに使用していたり車両ごとにしつらえが違ったりと、乗るだけでワクワクして写真を撮るバシバシ撮りたくなる凝ったデザインです。

その1つに「特急 いさぶろう・しんぺい」があります。高い山を上り下りするスイッチバックと、日本三大車窓とうたわれた景色が見どころの観光列車です。駅ごとに数分間停車するので、歴史ある駅舎や山の風景を楽しむことができます。ホームでは地元の方が歓迎のお茶をふるまったり露店で特産物を売ったりしています。道中のある駅のホームで、小さなびん入りのゆずこしょうを購入しました。

帰宅してそれを賞味すると、あまりの香りのよさと激辛さにびっくり！ほんの耳かき一杯でも強い辛味、なのにゆずの香りがしっかりと口に広がりなんとも爽やかなのです！今までの人生で私が認識していた「緑色の辛い薬味」とは全く別物です！食べきった後に市販品を買いましたが、あの手作りゆずこしょうの味には到底敵いません。びんには何の記載もなく生産者名もわかりませんでした。もう一度あのゆずこしょうに出会うには、再度「特急 いさぶろう・しんぺい」に乗り、ホームに広げられている露天を物色するしかないでしょう。



ふかい あゆみ

初の利用案内・文献検索 オリエンテーション

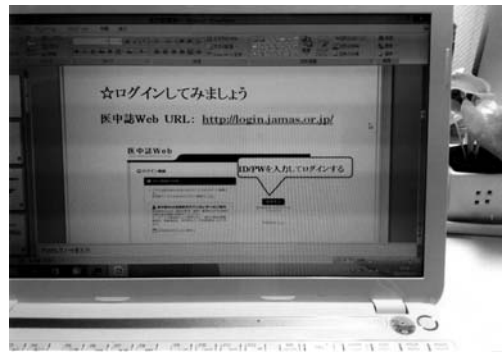
京都医療センター 岩瀬 成美

長年図書室に勤務しているにもかかわらず、今まで利用案内や文献検索のオリエンテーションをすることもなく過ごしてきました。

2016年、ある医師に研修医を対象にした利用案内と文献検索のオリエンテーションを勧められました。人生初のパワーポイント資料を作ることになり、慌てて検索方法を見直すことになりました。

資料の作成はとても大変でしたが、誰かのために説明するという“知識のアウトプット”は自分の勉強にもなる、ということをもっと実感することができ、とても成長できているなと思えました。

研修医たちにも好評のため、今後も続けていき、検索に少しでも慣れていけたらいいなと考えています。



いわせ なるみ